

単元 資質・能力	実施時期								質的ルーブリック (判断基準)		
	1 学 期			2 学 期				3 学 期	考え・基礎知識 (Ideas)	つながり (Connections)	応用・ひろがり (Extensions)
	評論 「敬語への自覚、 他者への自覚」	評論 「ミロのヴィーナス」	小説 「山月記」	評論 「システムとしての セルフサービス」	小説 「待つ」	評論 「科学者の現在を問う」	評論 「である」と「する」と	小説 「こころ」			
規則・定義・条件・知識等を理解し、適切に使うことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	語句の意味や働き等の知識を正確に理解できる。	語句の知識を、文脈に即して適用し正確に文章読解できる。	語句の知識を、さまざまな読解や表現活動に生かすことができる。
複数の情報から必要な情報を選んで、使うことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	課題・テーマに応じて、必要な情報を読み取り、取捨選択することができる。	選択した情報からキー概念を絞り込み、主題把握や心情読解等に生かすことができる。	分析したキー概念が、他の課題・テーマに応答するか評価できる。
社会や自然など事象の関係性を考えることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	対比、共通と相違、因果、具体と抽象、比喩等の関係性を発見できる。	読み取った関係性を吟味し、主題把握や心情読解に生かすことができる。	関係性の読み取りと構造化する力を、他の文章読解に応用できる。
文章などの趣旨や主張を理解し、評価（批評）できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	文章全体の構造・文脈から、主題を位置付けることができる。	根拠を明確に読み取り、主題を説明し解釈することができる。	把握した主題に対し、自己の意見・感想を展開することができる。
ある事象がなぜ起こるのか仮説を立て、検証できる。			○		○			○	場面における登場人物の心情読解について、仮説・推論を提案し、適切な根拠を示して検証できる。	作品全体を通して、登場人物の心情の推移や人物像について、仮説・推論を提案し、適切な根拠を示して検証できる。	初読の作品の主題について、仮説・推論を提案し、適切な根拠として登場人物の心情や人物像の読解を示して検証できる。
議論や証明の仕組みを考えて、その良し悪しを判断できる。	○	○		○		○	○		文章の構成や展開の概要を把握することができる。	主題や根拠、情報の関係性等をふまえて、文章の構成や展開を構造化することができる。	構造化の論理性・妥当性を吟味し、改善できる。
新たなアイデアの創造、新たな問いの発見ができる。			○		○			○	他者の読解や主張、模範解答をもとに、新たな読解や主張・表現の創造を試みている。	対立・共通する見方を統合し、自分なりの新たな読解や主張・表現を創造できる。	作品の主題に関する新たな問いを創造できる。
ペア・グループ等で互いに考えを伝え合ったり、作業・体験を通して学習を深めることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	他者の立場・場面や状況・目的を理解し、積極的に情報交換して学習内容の理解に役立てることができる。	他者の立場・場面や状況・目的に応じて、効果的な情報交換や学習内容の理解ができる。	表現内容・表現形式・表現効果等を自己・相互評価し、表現技能を高め、学習内容の理解を深化させることができる。
主体的に課題を解決する学習ができる。			○	○	○	○		○	与えられた課題に対し、主体的に課題解決の方法を考える姿勢で臨むことができる。	自ら課題を発見し、提示された情報をもとに、主体的に解決策を提案することができる。	授業の枠を超えた課題に対し、主体的に解決策を考えようとするすることができる。
学習の過程を振り返り、修正・統御できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	計画に沿って学習を進め、その遂行状況が順調に進んでいるかモニターすることができる。	計画に沿って学習を進め、その遂行状況を成果基準に照らして評価することができる。	必要に応じて計画や学習活動を修正し、自らの学習を統御することができる。
主な学習活動（協議、討論、発表等）	協議 発表	協議 発表	協議 討論 発表	協議 発表	協議 討論 発表	協議 討論 発表	協議 討論 発表	協議 討論 発表			

意欲・態度, 価値観・倫理観	考え・基礎知識 (Ideas)	つながり (Connections)	応用・ひろがり (Extensions)
豊かな心 (豊かな人間性) 他者を慈しみ, 想像力を巡らせて他者に接する。	言葉を通して, 自己を表現し心を豊かにすることができる。	言葉を通じて積極的に他者と関わり, 他者の心や考えを受容できる。	互いの心や考えに思いを巡らせ, 共感したり, 多様性に対応したりすることができる。
挑戦と成長 (学びに向かう力) 自らの資質や能力を伸ばすことに精力的に取り組む。	様々な作品を読んで, 日本の言語文化の特色や価値を理解する。	日本と他国の言語文化を比較し, その特色や価値の違いを理解することができる。	日本と他国の言語文化の特色や価値の違いを理解し, 自己の見方や考え方を深化させることができる。
自律と協働 (社会参画力) 自己の適性を活かし社会に貢献する使命感を持つ。	作品を通して, 社会的課題について認識できる。	社会的課題と自分とのつながりを自覚し, 解決に向けて必要な情報を手に入れようとする。	社会的課題について, 必要な情報を取捨選択して, 解決策を考えることができる。